

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成30年9月10日
タイトル	蓮池幹線用水路で自然体験！2018
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

平成30年7月14日（土）福山市立西深津小学校で「蓮池川自然体験」が開催されました。

福山市立西深津小学校のある西深津学区では、西深津学区まちづくり推進委員会が主催で毎月「子ども土曜クラブ」を実施しておられ、子ども達が学区内にある蔵王山や校舎の目の前を流れている蓮池川（水土里ネット福山が管理する蓮池幹線用水路）という故郷の自然とふれあうことや地域住民と交流することで自然や地域に興味を持つよう取組みをしておられます。「蓮池川自然体験」として蓮池川へ船を浮かべて子ども達が乗船体験をし、その後西深津小学校の理科室で環境学習をしました。

朝8時より蓮池川の乗船体験が始まりました。安全を確保するため子ども達はライフジャケットを着用し乗船前に「急に立上ったり覗き込むと転落するので注意しましょう。」と話をされました。

船には、町内会の方が船頭として乗船され子ども5、6人と保護者が一緒に乗りました。子ども達は興味津々で船に乗ってオールを漕いだり、川面から見える景色を楽しみました。水位は大人の腰のあたりで、長いオールで川底を突くことができ、子どもが突いて「わあ、底が固い！」と喜んでいました。

橋の下を潜る時は、頭を低くして通過し、橋の裏側を間近で見ることができました。あいにく水が濁っており水中の生き物はみつけにくかったですが、水草に小さな花（バイカモ？）が咲いていることなど、普段では見られない物を見ることができました。船上体験を5回行い約50人が参加されました。



船に乗っている間は、蓮池川は福山城築城のころ造られ約400年の歴史があることなど子ども達に体験の中で勉強できるような取組をしておられました。

参加者から「楽しかった。オールを漕ぐのが難しかった。」「水が濁っていて汚かった。」「水草が多かった。」など感想を聞くことができました。



10時から、西深津小学校の理科教室で環境学習をしました。

福山市の環境啓発課と環境保全課により水質検査（パックテスト）をしました。パックテストは、水道水に醤油とスポーツドリンクを1滴ずつ入れたものです。ほんの1滴でも水質検査の結果は「よごれている」となり、川に飲物などをそのままを捨てたらお風呂何杯もの水で薄めなければきれいにならないと話されました。ゴミを捨てないこと、ジュースなどを捨てると水質が悪化し、きれいにするために大量の水が必要となるので捨てないよう工夫する必要があることが分かりました。



続いて、水土里ネット福山から「農業用水」についてとそこに生息する「スイゲンゼニタナゴ」について出前授業をしました。

「蓮池川」として地域で親しんでいる川は人工的に造られた農業用水路であり、遠く離れたところから取水し市街地のほとんどに配水していることを説明しました。また、この農業用水路に絶滅危惧種の「スイゲンゼニタナゴ」など多くの水生生物が生息しており保全のために行っている活動を説明しました。

福山市の環境保全課より農業用水で泳ぐスイゲンゼニタナゴの映像を流していただき参加者により身近に感じてもらえたと思いました。蓮池川で泳ぐスイゲンゼニタナゴを想像しながらペーパークラフトを製作しました。



子ども達は、クレヨンや色鉛筆で「こんな魚がいたらいいな。」とカラフルに色を塗ったり、写真を見ながら忠実にスイゲンゼニタナゴを再現していました。組立ても保護者の方に聞きながら一生懸命組立てました。

最後に水路への転落防止を呼掛け、福山市上下水道局から提供いただいた「福山の水」をひとり一人に手渡して配布しました。

この度の取材から農業用水の管理に関わる水土里ネットとして、水質保全を含めたかんがい用水の安定確保に向けて地域住民との共生を図ってまいりたいと考えており、子ども達をはじめ、地域住民の方にも広く農業用水の役割や施設の管理の重要性を理解していただくよう、21世紀土地改良区創造運動に取り組んでいきたいと思ひます。